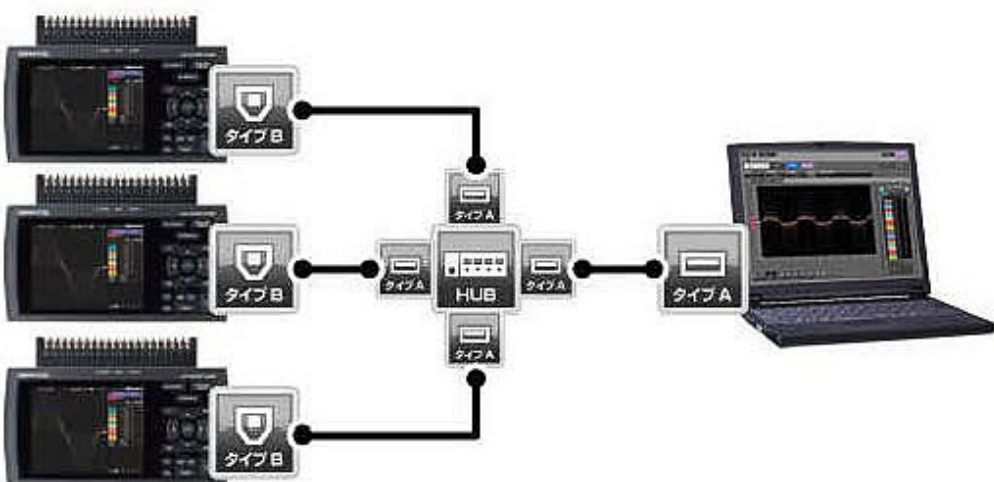


簡単USB接続

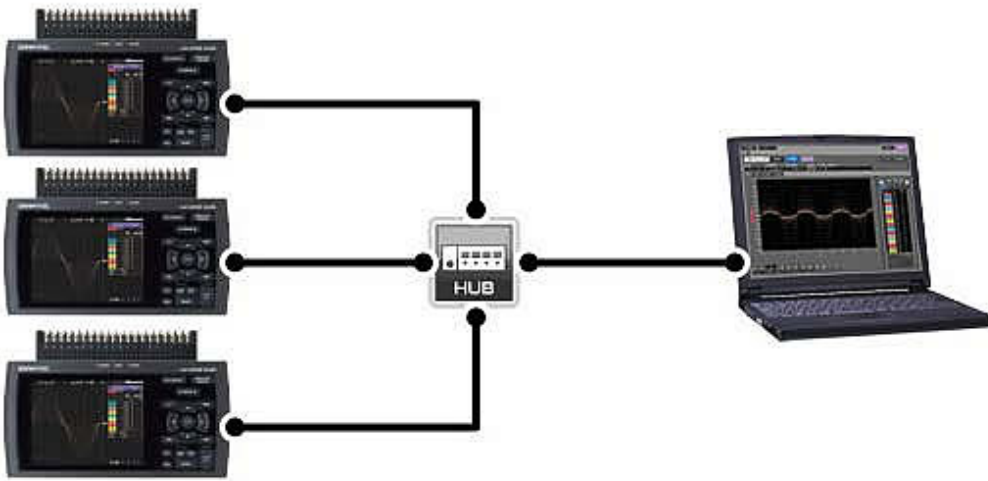
パソコンに標準装備されているUSBポートやイーサネットポートを使用して M245L-820G と接続が可能です。HUBを使用すれば、複数台の設定も可能です。

M245L-820G とパソコンをUSB接続



M245L-820Gとパソコンをイーサネット接続





PCとM245L-820Gの接続はIPアドレスまたはポート番号の設定を行なうことで可能です。また、M245L-820G側でのIPアドレスの設定は、自動取得と手動取得の2方法があります。

番号	録画記録	録画名称	名称で取得	IPアドレス /名前	ポート番号 /USB ID	状態
1	GLR00	装置 1	Off	192.168.0.1	0	接続 --
2	未登録	装置 2	Off	192.168.0.1	0	接続 --
3	未登録	装置 3	Off	192.168.0.1	0	接続 --
4	未登録	装置 4	Off	192.168.0.1	0	接続 --
5	未登録	装置 5	Off	192.168.0.1	0	接続 --
6	未登録	装置 6	Off	192.168.0.1	0	接続 --
7	未登録	装置 7	Off	192.168.0.1	0	接続 --
8	未登録	装置 8	Off	192.168.0.1	0	接続 --
9	未登録	装置 9	Off	192.168.0.1	0	接続 --
10	未登録	装置 10	Off	192.168.0.1	0	接続 --

設定条件の読み込み 設定条件の保存 戻る

安心の2重データ設定

PCと接続して使用した場合の収録データは、PCとM245L-820Gの両方に保存されますので、万が一、PC側でデータが取れていなくてもM245L-820G本体内にデータが保存されています。
(本体側収録先設定ON時)



本体側収録先設定をOFFの場合には、本体にデータを収録をせずに、PC側にのみデータを保存します。



簡単設定・簡単操作

本体同様にフリーランニング機能を搭載していますので、入力信号を見ながら設定でき、大変便利です。



また、波形操作はアイコンキーとなっており、感覚的に操作が可能です。

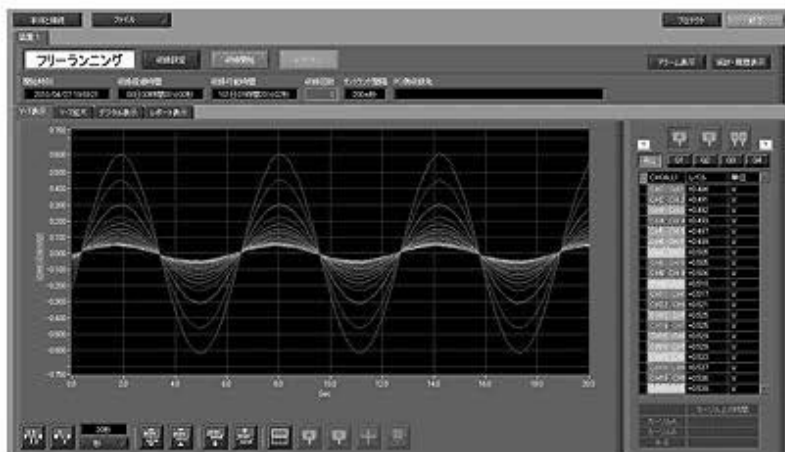


計測シーンに合わせた多彩な測定画面

あらゆる使い方を想定し、Y-T、Y-T拡大、デジタル表示、レポート表示の4種類の多彩な測定画面を用意しました。測定中に画面を変更することも可能です。

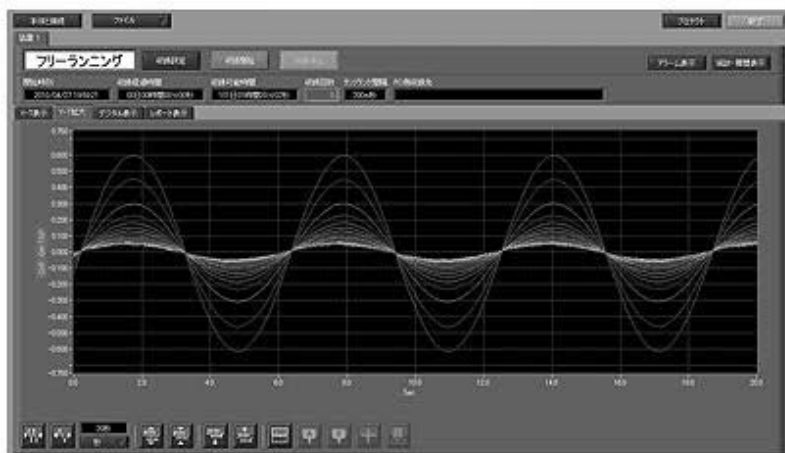
Y-T表示

アナログ波形とデジタル値を表示します。波形表示は、表示ゾーンを分割することができ、最大10分割が可能です。



Y-T拡大表示

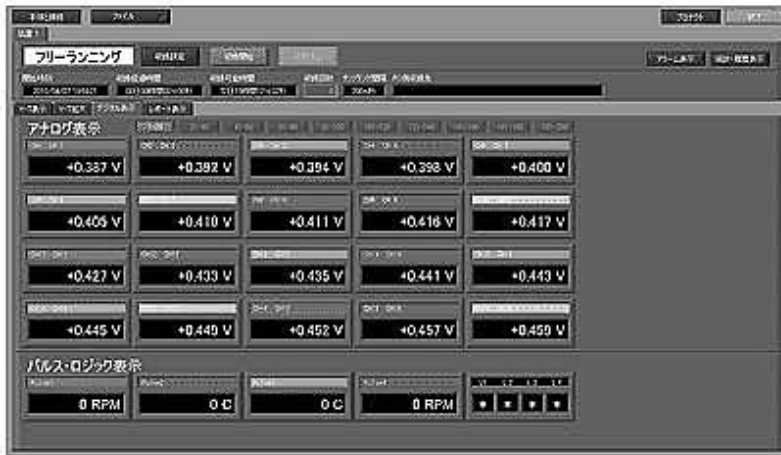
デジタル値を表示せずに、波形部分を拡大表示します。



デジタル表示

測定値をデジタル値で表示します。一目で測定値を確認することができます。

再生時のデジタル表示画面では、アナログ波形上のカーソル位置に合わせたデジタル値や統計演算値を表示します。



レポート表示

他の測定画面とは別に、日報・月報のデータ表示画面となります。1日ごとや1ヶ月ごとのデータファイルを作成でき、長期間のデータ収録に大変便利です。

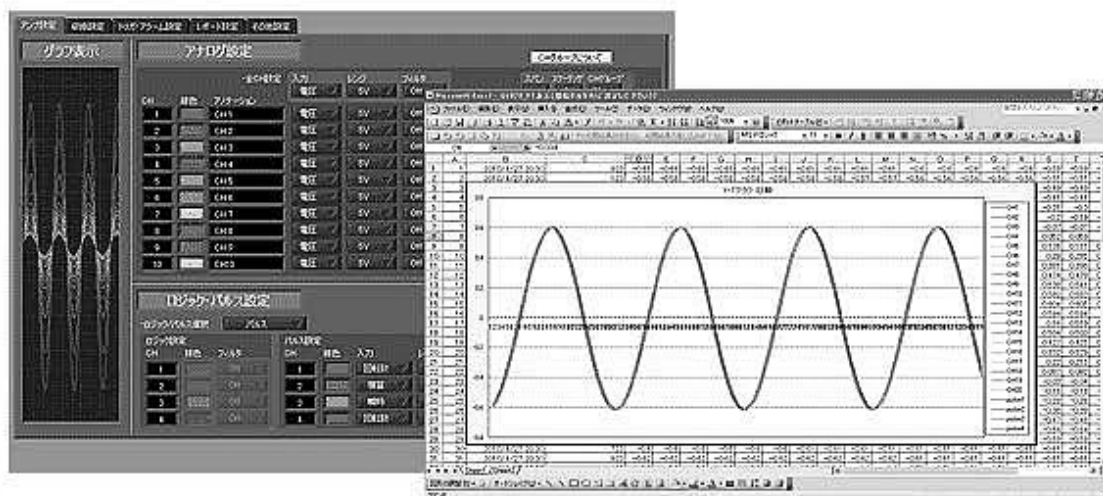
また、収録中は各チャンネルごとに平均値・最大値・最小値の表示も行います。

No.	日付時刻	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10	CH11	CH12	
1	2015/04/27 20:20:14	307	-0.10	-0.11	-0.12	-0.11	-0.12	-0.09	-0.07	-0.08	-0.07	-0.07	-0.08	
2	2015/04/27 20:20:15	307	-0.06	-0.06	-0.10	-0.10	-0.08	-0.05	-0.03	-0.04	-0.04	-0.04	-0.04	
3	2015/04/27 20:20:16	307	-0.11	-0.11	-0.10	-0.10	-0.09	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
4	2015/04/27 20:20:17	307	-0.07	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
5	2015/04/27 20:20:18	307	-0.12	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
6	2015/04/27 20:20:19	307	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
7	2015/04/27 20:20:20	307	-0.10	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
8	2015/04/27 20:20:21	307	-0.09	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
9	2015/04/27 20:20:22	307	-0.08	-0.07	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	-0.06	
10	2015/04/27 20:20:23	307	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
11	2015/04/27 20:20:24	307	-0.08	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	-0.07	
12	2015/04/27 20:20:25	307	-0.11	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
13	2015/04/27 20:20:26	307	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
14	2015/04/27 20:20:27	307	-0.11	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	-0.05	
15	2015/04/27 20:20:28	307	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
16	2015/04/27 20:20:29	307	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
17	2015/04/27 20:20:30	307	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
18	2015/04/27 20:20:31	307	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
19	2015/04/27 20:20:32	307	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
20	2015/04/27 20:20:33	307	-0.10	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	-0.08	
			平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値
			-0.08	-0.05	-0.12	-0.08	-0.05	-0.12	-0.08	-0.05	-0.12	-0.08	-0.05	-0.12
			-0.11	-0.03	-0.08	-0.11	-0.03	-0.08	-0.11	-0.03	-0.08	-0.11	-0.03	-0.08

データを直接Excelに転送する、ダイレクトExcel機能

M245L-820GからPCへ転送されるデータをダイレクトでExcelへ展開が可能です。

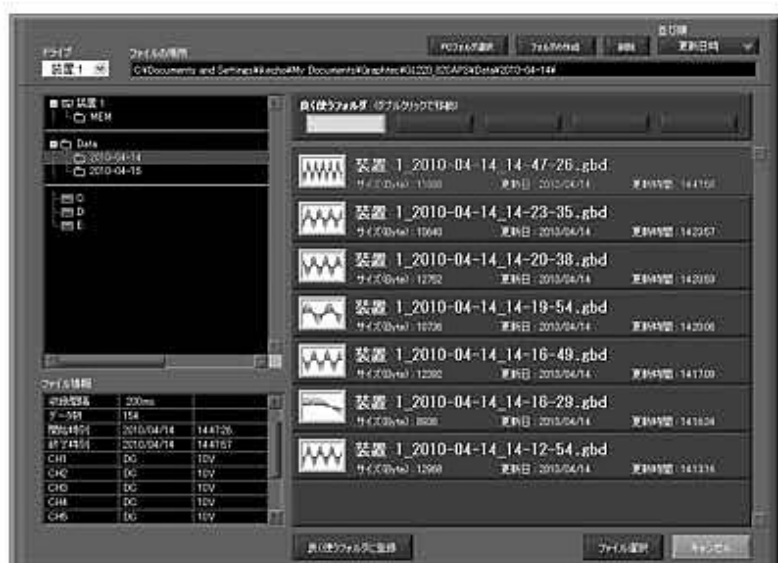
あらかじめ、データを展開するExcelのシートに演算やグラフなどを設定しておけば、測定とともに演算結果の算出や報告書の作成が完成します。



サムネイル機能でデータ管理が容易に可能

サムネイル機能により、データファイルを開かなくてもデータを簡易的に確認が可能です。

* PC保存ファイル表示時



演算機能（測定時機能）

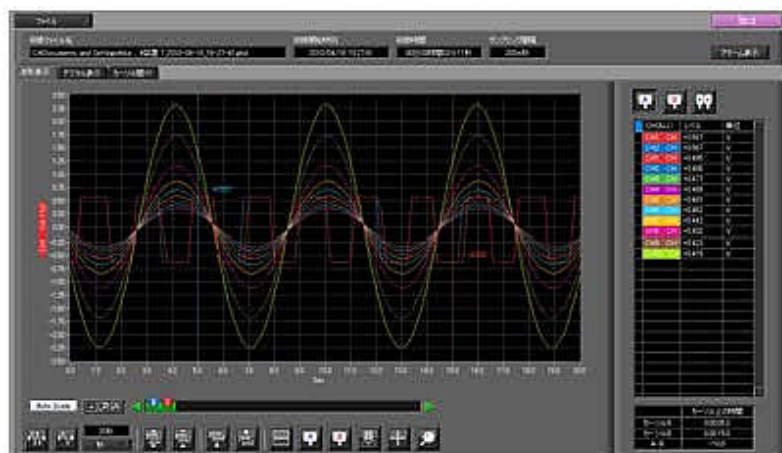
4種類の演算チャンネルを設定可能。アナログ波形のチャンネルとは別に、演算用に4チャンネルを用意しました。チャンネル間の四則演算（*3）が可能です。



(*3) 演算結果を測定データとして収録することはできません。

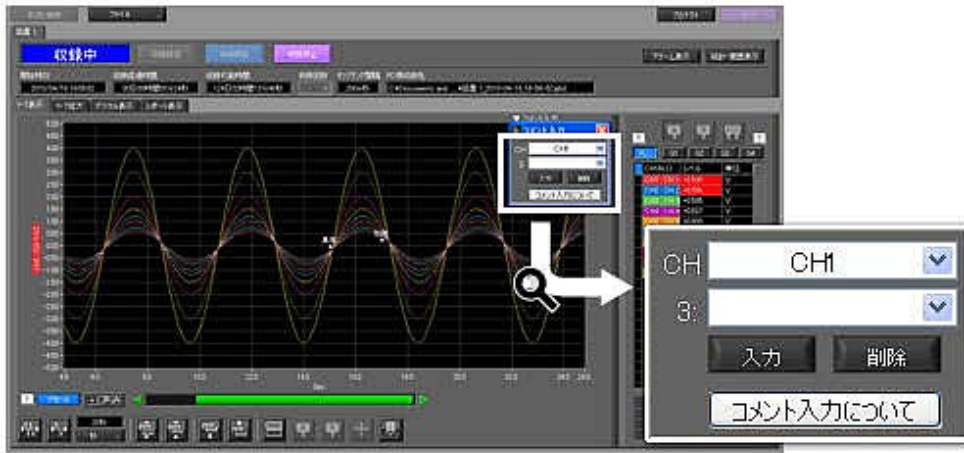
複数のデータを比較する重ね書き機能

収録した複数のデータを重ね合わせて表示することが可能です。繰り返し測定したデータの比較に大変便利です。



コメント入力機能で異常点を簡単検出 (測定時・データ再生時機能)

収録中に波形の異常点にコメントを入力 (*4) することができます。データ再生時に異常点の検出に役立ちます。



(*4) PCにて収録したデータのみ対応。

アラーム発生時に便利なメール送信機能（測定時機能）

長時間測定時などに、常に測定値を監視することは不可能です。

メール機能（*5）を使用すれば、アラームが発生すると同時に指定のメールアドレスに異常をお知らせします。

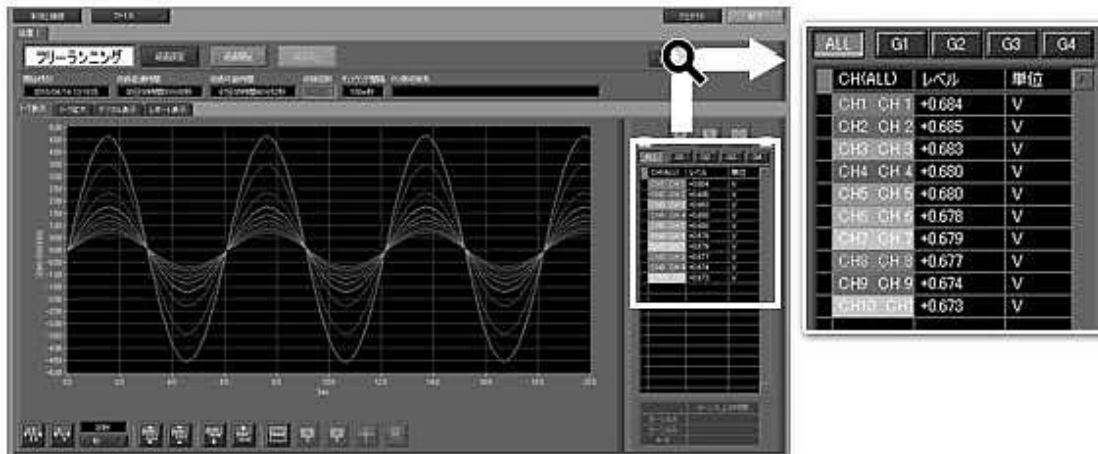


(*5) 接続しているPCから、Eメールを送信できる環境が必要です。
メール送信機能は、データ収録機能はデータ収録中のみ有効です。

多チャンネル測定時に便利なチャンネルグループ機能

測定チャンネルを最大4グループに分けることができます。

グループごとに波形表示のOn/Offが可能で、測定項目別でのデータ収録時などに波形確認が容易になります。



CSV一括変換機能

収録した複数のファイルを一括でCSV形式に変換できます。

1ファイルずつ開いて変換する手間がかかりません。

